

読むまえに...

- ① 手順の説明：これからすることを子どものやる気が増すように楽しく説明する。



これから本と一緒に読みましょう。読み終わったら、どんなお話だったか話しましょう。

- ② テキスト選び：いっしょに読む本を選ぶ。

・テキストを子どもにわたす。



はじめは私が読んで、〇〇さんにはここ(56ページ)から読んでもらいます。どうですか。読めそうですか。もう少しやさしい本にしますか。

・1ページ目(52ページ)冒頭5行を音読させ、読み続けるかテキストを変えるかを子どもに選ばせる。



少し読んでみて、決めましょう。
ここ(52ページの5行目)までを声に出して読んでみてください。

・子どもが読むのを聞く。読み終わったら、もう一度、次のように質問をする。



最後まで読めそうですか。

・「読める」と言った子ども ⇨ そのままこの実践ガイドにそって進む。

・「読めない」と言った高学年児童 ⇨ **レベルC2のテキストへ**

・「読めない」と言った中学年児童 ⇨ **レベルC1もしくはレベルC2のテキストへ**

- ③ 興味・関心：テーマについて知っていることを確認し、興味・関心を高める。

・次のことばの理解を確認し、知らない場合は教える。60ページの絵を見せてもよい。



これは『貝がら』というお話です。「ぼく」と「中山君」のお話です。
「貝がら」を知っていますか。見たことがありますか。

- ④ 予測：テキストを子どもに見せながら、53ページの12行目までを実施者が読んで聞かせ、その後にテキストを閉じて、話の続きを予測させる。



では、はじめから私が読みますね。よく聞いていてください。

・読み終わったら、次のように質問をする。



ここまで、どんなことが書いてありましたか。
では、この先、どんな話が続くと思いますか。

- ⑤ 読み聞かせ：続きを実施者が読み、子どもはテキストを見ながら聞く。

・テキストを子どもに見せながら、続きから55ページの最後まで実施者が声にだして読む。



ではもう少し私が読みますね。しっかり聞いていてください。

メモ：このテキストは、ある程度の長さのある文章を、句読点や意味のまとまりで区切りながら読める子どもに適している。まだ単語や文節で区切って読む子どもは、最後まで読み続けることが難しいかもしれない。そのような子どもがこのテキストを選んだ場合、疲れていないか気をつけて観察し、途中でテキストを変えてもかまわない。また、最後まで読めたとしても、あらずじ再生が難しい場合は、はげましたり、待ったり、子どもの発話をつなげたりするなど、スモールステップのサポートを心がける。

また母語での読みの力が高く、日本語の理解力と産出力に大きな差がある子どもがこのテキストを選んだ場合は、最後に母語であらずじ再生を求めたり、話し合ってもかまわない。最後に子どもが「読めた」「話せた」という達成感をえられるようサポートする。

読みましょう...

① 音読：続きを子どもが読む。

・まず、音読と黙読とどちらが得意か確認する。



これから〇〇さんに読んでもらいます。〇〇さんは、声に出して読むのと、黙って心の中で読むのとどちらが好きですか。どちらのほうが、お話の内容がよくわかりますか。

* 黙読を選んだ子どもに対して☞ 56ページ1行目から57ページの12行目までを音読で、57ページ13行目からテキストの最後までを黙読で読ませる。



では、〇〇さんがどんなふうに進んでいるか知りたいので、ここ(56ページの1行目)からここ(57ページの12行目)までは声に出して読んでください。その後は黙って読んでください。分からない漢字やことばがあったら、聞いてください。後でどんなお話だったか聞きますね。しっかり読んでください。では、お願いします。

・57ページの12行目まで読み終えたら、次のように合図する。



黙って読んでいいですよ。

* 音読を選んだ子どもに対して☞ 56ページ1行目からテキストの最後までを音読で読ませる。



では、ここ(56ページの1行目)から最後まで声に出して読んでください。分からない漢字やことばがあったら、聞いてください。後でどんなお話だったか聞きますね。しっかり読んでください。では、お願いします。

・実施者は音読速度、区切り方、つまづいたときの対処の仕方などに注意しながら子どもの音読を聴く。
・終わったら、声かけをする。



とても上手に／頑張って、読めましたね。

話しあいましょう...

① あらすじ再生：テキストをとして、子どもがテキストの内容を再生する。 実施者は声かけをしつつ、子どもの話を最大限に引き出す。



ではこのお話はどんなお話でしたか。はじめてこのお話を聞く人にわかるように話してください。終わったら『終わりです』と言ってください。

・下の『あらすじチェック』を参考に、どのくらい理解できているかをチェックする。

あらすじチェック

- 1. (4年生に進級して)ぼくのとりの席に(転校してきた)中山君がすわるようになった。
- 2. 中山君は自分のほうからは何も話しかけてくれなかった。
- 3. 中山君は(ぼくとだけではなく)誰とも口をきかない(だまりこんでばかりいる)。
- 4. 図工の時間、中山くんがあまりにすばらしい海辺の景色の絵をかいていた。
- 5. 中山君は「前に住んでいた所」と自分のほうから説明してくれた。
- 6. 中山君の言葉に変ななまりがあり、女の子たちが笑った。
- 7. 中山君は一言もしゃべらなくなってしまった。
- 8. ぼくが病気になるって欠席したとき、中山君はみまいに来てくれた。
- 9. 中山君がお母さんにあずけた箱には、いろいろな色や形の美しい貝がらがぎっしり入っていた。
- 10. ぼくは、今度こそ中山君と仲良しになれると思った。

② 理解を深めるやりとり：話し合いながら、理解を深める。

・再生した内容に以下のような情報が含まれていなかった場合に質問する。



たくさん／頑張って／上手にお話できましたね。今度は少し私が質問しますね。

質問

解答例

1. はじめの頃、ぼくは中山君のことをどう思っていましたか。

1. 話さないことに腹が立った／誰とも話さないから不思議だった。

2. 中山君は、なぜいつもだまっていますか。

2. 自分の言葉のなまりがはずかしかったから。／笑われたくないで、しゃべらないように用心していた。

その他の質問(自由)

③ 解釈・感想：お話を読んで、どう感じたかを質問をして確かめる。



・中山君は どうして貝がらを持ってみまいに来たのだと思いますか。
 ・どうして「今度こそ中山君と友達になれると思った」のでしょうか。
 ・もし、あなたがぼく／中山君だったら、どうしますか。どう感じますか。
 ・このお話はどこが面白かった／大事だと思いましたか。それはどうしてですか。



・高学年以上には、次の質問をする。

このお話を書いた人が伝えたかったのはどんなことでしょうか。どうしてそう思いますか。

読んだあとで...

① ふり返し：全体をふり返し、良いところを見つけてしっかりほめる。



はい、これで終わりです。頑張りましたね。難しかったですか、簡単でしたか。
 ○○さんはとても上手に／頑張って○○できましたね。○○がよくわかっていますね。

・高学年以上の場合、自分がどのように読んでいるかを意識させる。



では(内容で)わかりにくいところがあったら、どうしますか。
 (読み返す、イメージする、具体例を考える、誰かに聞く、そのまま読み続ける など)
 わからないことばがあったときはどうしていますか。(読み返す、絵をみる、声に出して言う、推測する、絵を見る、誰かに聞く、そのまま読み進める、辞書を使う など)
 ○○語を使って考えたりしましたか。(した場合は例えばどの場面でのどのようにしたか)

③ 読書習慣：本や本を読むことについて話し合い、読書への興味・関心を高める。



本は好きですか。よく本(教科書、マンガではない本)を読みますか。
 いつ読みますか。(朝読書の時間、図書室の時間、休み時間、放課後(うちで)など)
 この1学期間(1年間、○休みの間など)に何冊ぐらい本を読みましたか。
 どんな本(伝記、歴史小説、物語、冒険もの、こわい話、マンガなど)が好きですか。
 好きな本の名前を教えてください。(わかれば)

・母語での読みの力が高い子どもには、次のような質問をしてもよい。



○○語ではよく本を読みますか。
 ○○語でどんな本を読みますか(絵本、図鑑、物語、説明、教材、インターネットなど)
 一週間にどのくらい○○語で本を読みますか。



ではこれからもたくさん本を読んでください。ありがとうございました。